



HAYAMA



SHONAN



OISO



MANAZURU



# CONTENTS

## 目次

- 1 港湾の概要・位置図
- 2 葉山港
- 4 葉山港再整備計画
- 6 湘南港
- 8 湘南港再整備計画
- 10 大磯港
- 12 大磯港活性化整備計画
- 13 「みなとオアシス 大磯（仮称）」の取組み
- 14 真鶴港
- 16 真鶴港活性化整備計画
- 18 東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技 江の島開催
- 20 川崎港・横浜港・横須賀港  
神奈川県港湾管理の機構



## 県のすがた

神奈川県は関東平野の南西部に位置し、東側は東京湾、南側は相模湾に面しています。

北側は東京都に接し、三浦半島を含む東部丘陵台地と相模川を中心とした平坦な中央地域は首都圏の一角を形成しています。

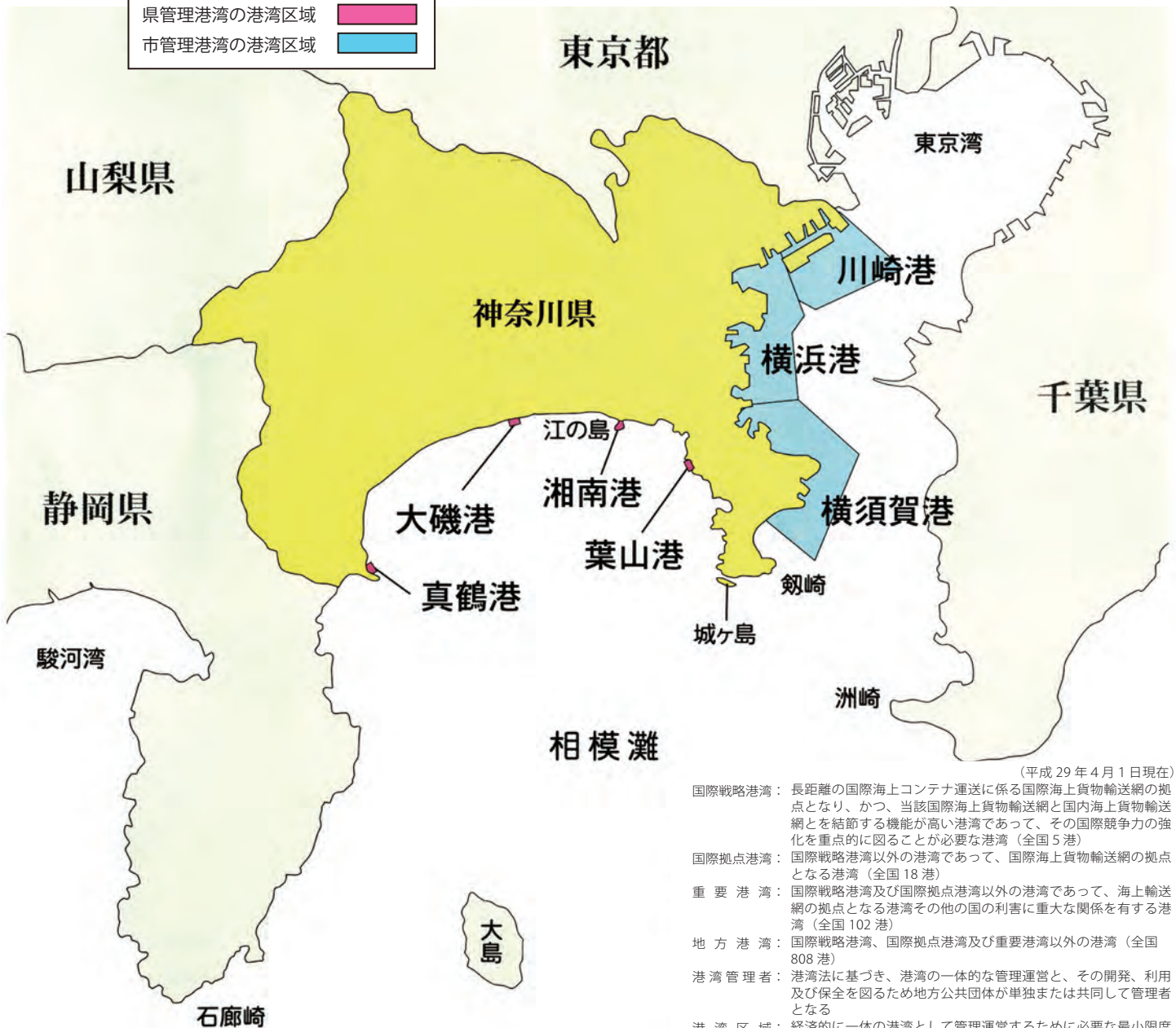
西側は丹沢、箱根等の山岳地域で静岡県、山梨県に接しています。

面積は、約2,416km<sup>2</sup>で全国43番目、狭い方から5番目です。人口は平成29年9月1日現在では916万1,493人で、全国第2位です。また、人口密度は1km<sup>2</sup>当り3,792人で、東京都、大阪府に次いで全国第3位です。

気候は温暖で平均気温は15~16℃、年間降水量は平野部で1,700mm程度となっています。

### 港湾位置図

県管理港湾の港湾区域   
市管理港湾の港湾区域



## かながわの港湾

神奈川県には7つの港湾があります。

東京湾には、国際戦略港湾の川崎港、横浜港と重要港湾の横須賀港の3港があり、首都圏の産業・経済に重要な役割を果たしています。これらの3港湾は各々の市が港湾管理者となっています。

また、相模湾側にはヨットハーバーを中心とした葉山港、湘南港、物流を中心とした大磯港、真鶴港の4つの地方港湾があります。

これら、地方港湾4港が、神奈川県の管理する港湾です。

港湾の種類	港湾名	港湾管理者
国際戦略港湾	川崎港	川崎市
	横浜港	横浜市
重要港湾	横須賀港	横須賀市
地方港湾	葉山港	神奈川県
	湘南港	
	大磯港	
	真鶴港	

(平成29年4月1日現在)

**国際戦略港湾**：長距離の国際海上コンテナ運送に係る国際海上貨物輸送網の拠点となり、かつ、当該国際海上貨物輸送網と国内海上貨物輸送網とを結節する機能が高い港湾であって、その国際競争力の強化を重点的に図ることが必要な港湾（全国5港）

**国際拠点港湾**：国際戦略港湾以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾（全国18港）

**重要港湾**：国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾（全国102港）

**地方港湾**：国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾（全国808港）

**港湾管理者**：港湾法に基づき、港湾の一体的な管理運営と、その開発、利用及び保全を図るため地方公共団体が単独または共同して管理者となる

**港湾区域**：経済的に一体の港湾として管理運営するために必要な最小限度の認可水域

東京湾沿岸：洲崎（千葉県）～劔崎（神奈川県）

相模湾沿岸：劔崎（神奈川県）～静岡県境

# 葉山港

PORT of HAYAMA

## 日本ヨット発祥の地

葉山港は、三浦半島の相模湾側に位置し、<sup>あぶずり</sup> 燈摺港とも呼ばれ、古くから漁業が営まれているとともに「日本ヨット発祥の地」として知られています。

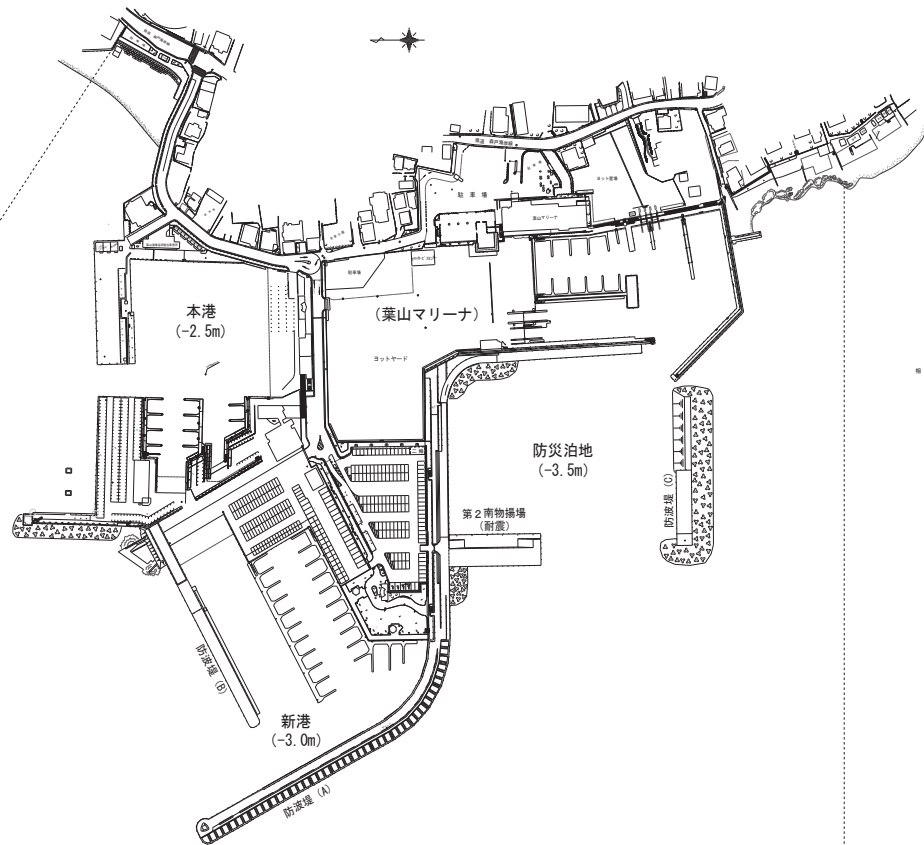
昭和 30 年の神奈川国体では、ヨット競技の会場として、昭和 39 年の東京オリンピックでは、湘南港のサブハーバーとして、また、平成 10 年の国民体育大会（かながわ・ゆめ国体）では、成年女子ヨット競技会場として利用されました。

さらに、東京 2020 オリンピック競技大会に向けて、海外チームの事前キャンプ地として利用されるなど、重要な役割を担っています。

これまでに、第 2 南物揚場の耐震化が完了しており、大規模地震時の緊急物資受入港に位置づけられています。

現在は、ヨット、モーターボートを約 270 隻、漁船を約 40 隻収容しています。

葉山港平面図



葉山港港湾区域

### 主な港湾施設

種類	名称	数量	種類	名称	数量
水域施設	泊地	8,441 m <sup>2</sup> (-2.5m)	係留施設	第 2 南物揚場	60m(-3.5m)(耐震)
	新港泊地	12,000 m <sup>2</sup> (-3.0m)		第 3 西船揚場	40m
	防災泊地	15,000 m <sup>2</sup> (-3.5m)		東船揚場	78m
外郭施設	西防波堤	47m	臨港交通施設	臨港道路 1 号線	139m
	防波堤 (A)	204m		臨港道路附属駐車場	5,500 m <sup>2</sup> ・137 台
	防波堤 (B)	110m	船舶役務用施設	西船舶保管地	3,067 m <sup>2</sup>
	防波堤 (C)	90m		第 2 西船舶保管地	4,495 m <sup>2</sup>
係留施設	防波護岸	170m	港湾環境整備施設	先端部緑地	1,451 m <sup>2</sup>
	本港浮さん橋	189m(-2.5m)		導入部緑地	1,206 m <sup>2</sup>
	新港浮さん橋	598m(-3.0m)	港湾管理施設	防波堤 (A) 遊歩道	374m(2,925 m <sup>2</sup> )
	東物揚場	76m(-2.5m)		葉山港管理事務所	1,168 m <sup>2</sup>



- 港湾区域認可／昭和 39 年 3 月 28 日
- 港湾区域面積／26ha
- 臨港地区都市計画決定／平成 17 年 9 月 8 日
- 臨港地区面積／約 3.7ha
- 所在地／三浦郡葉山町堀内



葉山港



葉山港を拠点に毎年 30 回程度開催されるヨットレース



漁港区の朝市（毎週日曜日開催）



ジュニアヨットスクール（毎週日曜日開催）



港湾管理事務所



# 葉山港再整備計画

(1994年～)



葉山港再整備計画イメージパース

## 1 ヨット競技の拠点づくり

常時、ヨット競技開催の可能な機能、空間を確保し、海洋性スポーツの振興に寄与します。

## 2 集い憩う空間づくり

誰もが気軽に利用でき、憩うことのできる広場や空間を創出するとともに、より多くの人々が訪れることのできるアクセスの向上を図ります。

## 3 海、ヨットとの出会いの場づくり

大人から子供まで海洋性スポーツを楽しみながら学べる研修の場を創出し、レンタルヨット制度などにより、誰もが気軽にヨットを利用できるようにします。

## 4 使いやすい空間づくり

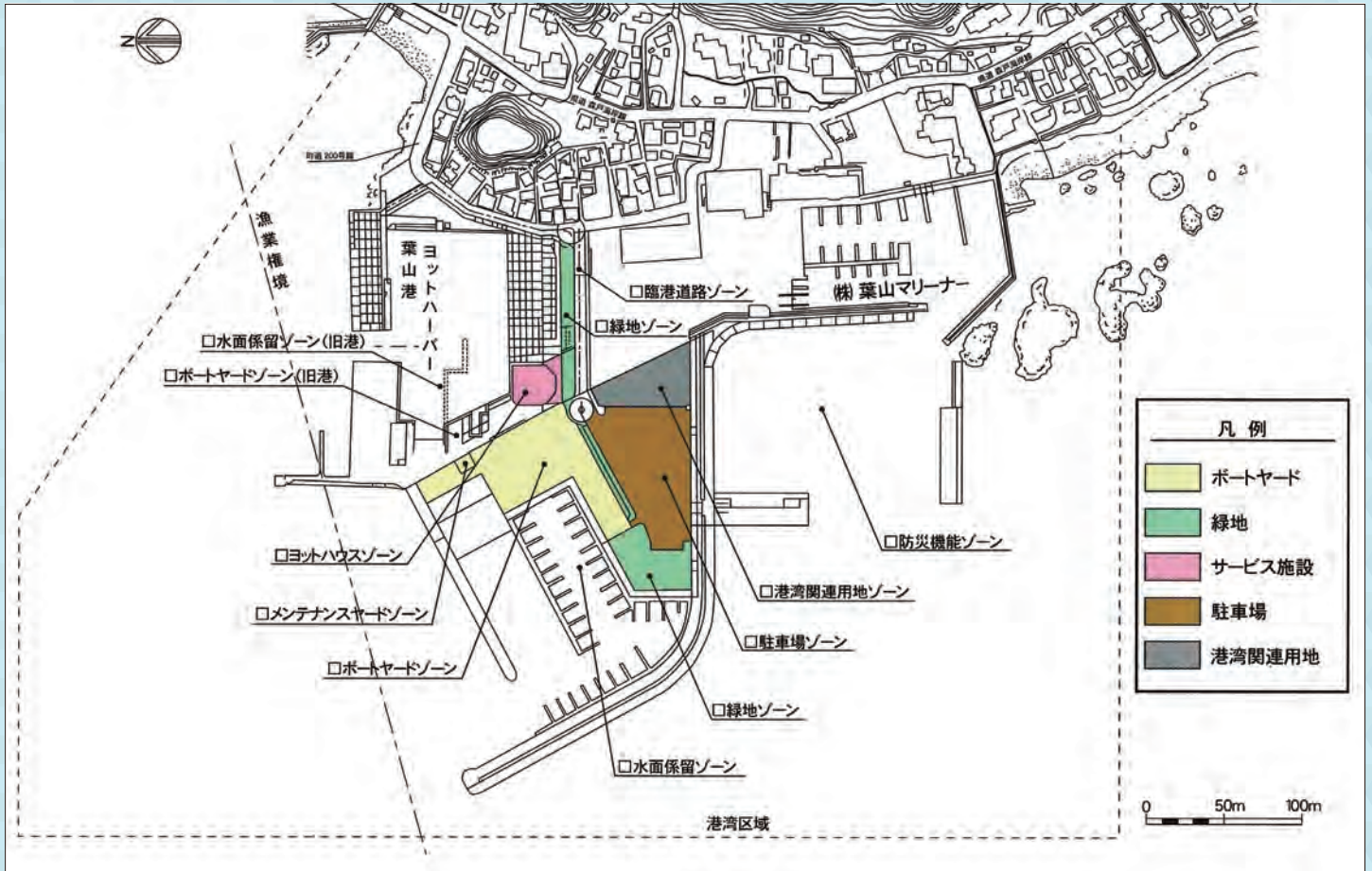
施設の更新、分離化により、漁業利用とレクリエーション利用の分離を図るとともに、利便施設を充実し、サービス水準の向上を図ります。

## 5 防災泊地の整備

300t級の貨物船が接岸できる耐震物揚場を新たに整備し、大規模地震発生時の緊急物資等の受入機能を確保します。



# 再整備計画平面図



## 施設の概要

整備前	
保管隻数	299 隻
内訳 DY194 CY・MB105	
	計 299 隻
水域施設	泊地 8,441 m <sup>2</sup>
外郭施設	防波堤 140 m
ボートヤード	3,700 m <sup>2</sup>
緑地	-
メンテナンスヤード	-
艇庫	-
駐車場	-
面積	10,300 m <sup>2</sup>



再整備後	
保管隻数	362 隻
内訳 DY194 CY・MB138	
レンタル艇 30	
ビジターヤード DY100 CY・MB24	124 隻
	合計 486 隻
水域施設	泊地 20,441 m <sup>2</sup>
	防災泊地 15,000 m <sup>2</sup>
外郭施設	防波堤 550 m
ボートヤード	7,100 m <sup>2</sup>
緑地	2,100 m <sup>2</sup>
メンテナンスヤード	100 m <sup>2</sup>
艇庫	300 m <sup>2</sup>
駐車場	5,500 m <sup>2</sup> (137 台)
面積	22,300 m <sup>2</sup>
耐震物揚場	60 m

# 湘南港

PORT of SHONAN

## 日本最大級の公共ヨットハーバー

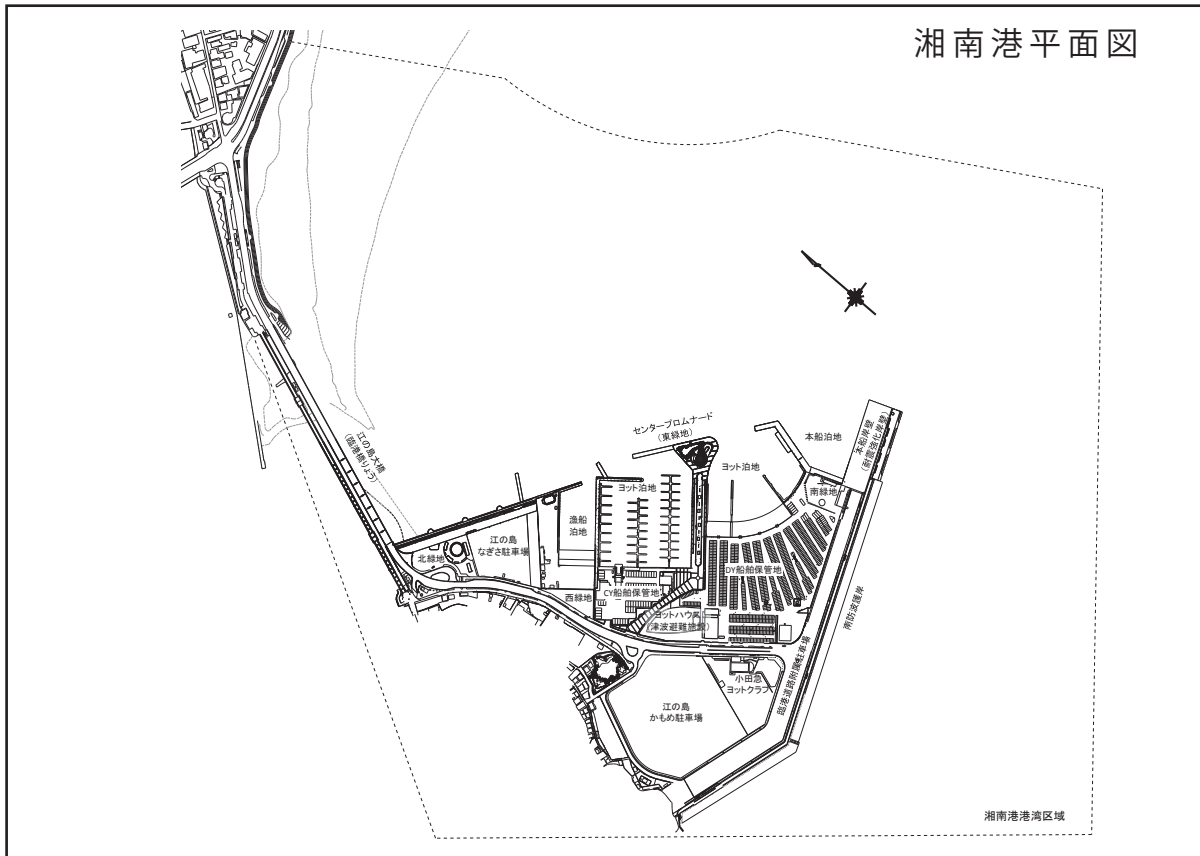
湘南港は、相模湾北東部にある名勝江の島の東側に位置し、1964（昭和39）年の東京オリンピックのヨット競技会場として建設されて以来、公共ヨットハーバーの草分けとしてヨット競技活動の普及に貢献してきました。

平成27年6月に、東京2020オリンピック競技大会におけるセーリング競技の江の島開催が決定したことを受け、オリンピックの成功とその先を見据えた港湾の機能強化や島内活性化のために、江の島大橋3車線化事業を含め、施設の更新・改修を順次進めています。

平成29年には、「市民に開かれた海洋文化の発展に大きく寄与し、五輪とともに歩む貴重な土木遺産」として、公益社団法人土木学会の選奨土木遺産の認定を受けました。

これまでに、本船岸壁及び江の島大橋の耐震化が完了し、大規模地震時の緊急物資受入港として位置づけられています。

現在は、ディンギーヨットを中心にヨットを約800隻、漁船を約20隻収容しています。



### 主な港湾施設

種類	名称	数量	種類	名称	数量
水域施設	本船泊地	7,500 m <sup>2</sup> (-6.0m)	係留施設	本船岸壁	109 m(-6.0m)(耐震)
	ヨット泊地	29,000 m <sup>2</sup> (-3.0m)		ヨット船揚場	110 m
	漁船泊地	2,870 m <sup>2</sup> (-2.0m)	臨港交通施設	臨港道路	1,545 m
外郭施設	防波堤(A)	108 m		臨港道路附属駐車場	11,499 m <sup>2</sup> ・325台
	防波堤(B)	58 m	江の島大橋	324 m(耐震)	
	漁港防波堤	35 m	船舶役務用施設	船舶保管地	28,000 m <sup>2</sup>
	南防波護岸	638 m		港湾環境整備施設	東緑地
係留施設	北ライン浮さん橋	270 m		南緑地	1,952 m <sup>2</sup>
	中央ライン浮さん橋	440 m		西緑地	1,272 m <sup>2</sup>
	南ライン浮さん橋	528 m		北緑地	7,449 m <sup>2</sup>
	南1号浮さん橋	148 m		中央緑地	2,263 m <sup>2</sup>
	南2号浮さん橋	90 m		南緑地遊歩道	540m(3,828 m <sup>2</sup> )
	南3号浮さん橋	40m	港湾管理施設	湘南港管理事務所	3,399 m <sup>2</sup>



- 港湾区域認可／昭和 35 年 10 月 11 日
- 港湾区域面積／ 102ha
- 臨港地区都市計画決定／平成 16 年 12 月 9 日
- 臨港地区面積／約 11ha
- 所在地／藤沢市江の島



湘南港



湘南港を拠点に毎年 100 回程度開催されるヨットレース



ハンザクラスディンギー



クルーザーヨット泊地



磯の生き物を観察できるタイドプール



# 湘南港再整備計画

(1991年～)



湘南港再整備計画イメージパース

## 親しみにぎわいのあるマリーナへ、湘南港は生まれ変わります。

### 1 ヨット保管隻数を、1,700隻に拡大します。

近年の増大するプレジャーボート需要に対応するため、ヨット保管隻数を現在の約990隻から1,700隻に拡大します。

### 2 より一層、市民に開かれたマリーナとします。

一般の人々も気軽に訪れることができるマリーナとして、親水プロムナードや緑地等を整備するとともに、レンタルヨット制度の導入等により誰でもマリーナの雰囲気が味わえるようになります。

### 3 多目的な機能を持ちます。

マリーナ機能だけでなく、大規模地震発生時の緊急物資受入港として岸壁を耐震補強したり、水上バスターミナルの拠点として位置づけるなど、防災機能や交通機能を併せ持ちます。また、耐震岸壁へのアクセス道路としての臨港橋りょう（江の島大橋）の耐震化も行います。

## 湘南港管理事務所（ヨットハウス）を新築

湘南港では、海洋性レクリエーションの拠点として、誰もが利用できる「湘南港管理事務所（ヨットハウス）」を平成26年6月に供用開始しました。

屋上には津波避難施設としての機能もある展望台が併設されています。

構造：鉄筋コンクリート造  
(一部鉄骨造)

階数：地上2階

高さ：12m

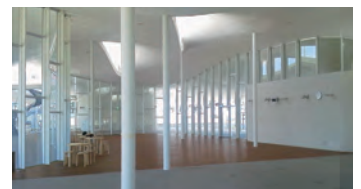
1階：事務室、ロッカー室、  
カフェ、水上警察等

2階：会議室（大会運営室、  
災害時は防災拠点）、  
リビッドメモリアルコーナー等

屋上：展望台（津波避難施設）



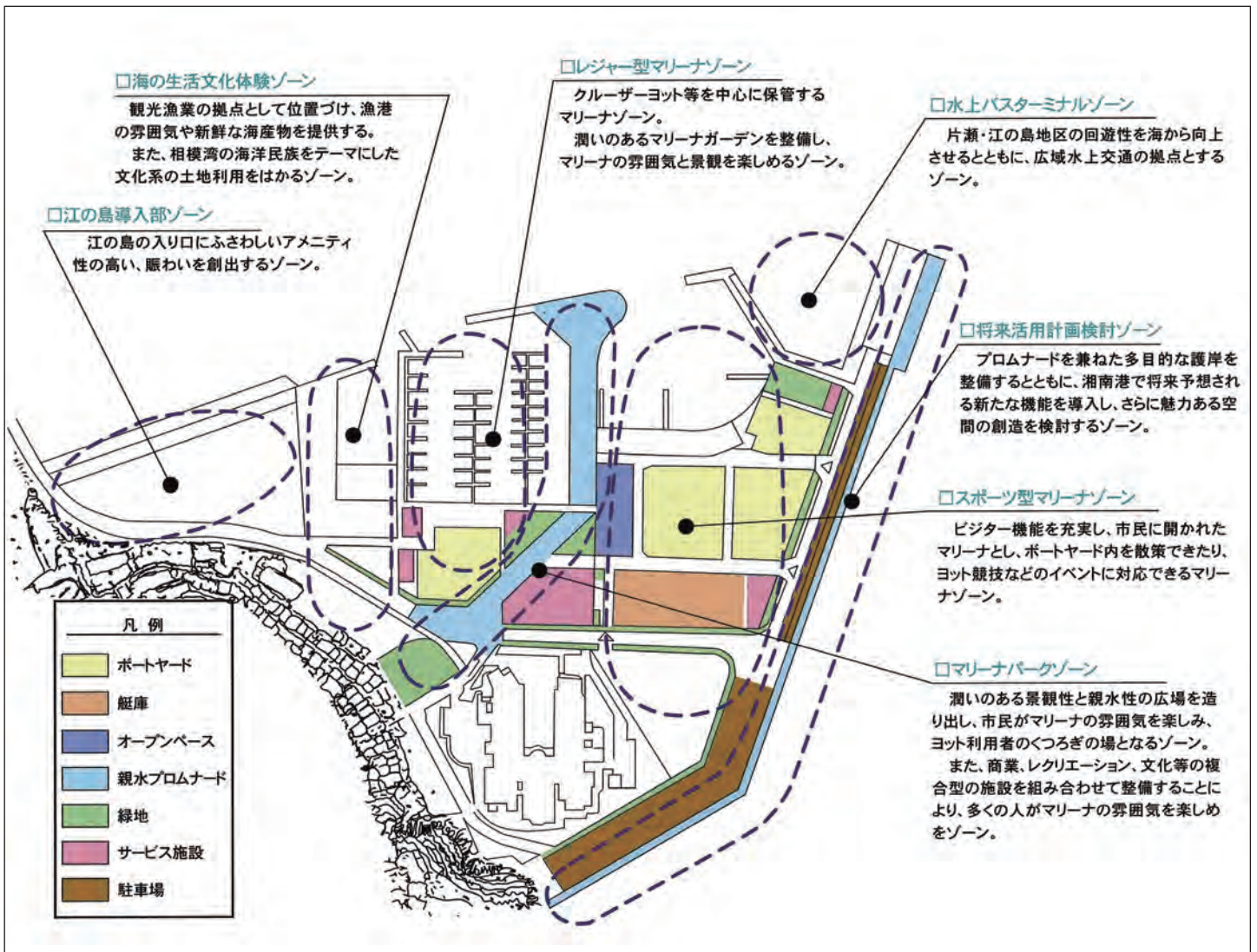
屋上：展望台（津波避難施設）



2階：会議室（大会運営室）



# ゾーニングとコンセプト



## 施設の概要

整備前		
保管隻数	ヨット 990 隻	DY 880 隻
	〔他民間〕	CY 110 隻
	〔DY200〕	MB
水域施設	ヨット泊地	30,380 m <sup>2</sup>
	本船泊地	13,200 m <sup>2</sup>
岸壁	2,000t 級	1 バース
ヨット保管地		21,829 m <sup>2</sup>
緑地・親水施設		2,000 m <sup>2</sup>
サービス施設		4,178 m <sup>2</sup>
駐車場台数		400 台



再整備後		
保管隻数	ヨット 1,700 隻	DY 1,550 隻
	〔他民間〕	CY 150 隻
	〔DY200〕	MB
ビジターヤード	DY150 CY15	165 隻
水域施設	ヨット泊地	約 29,000 m <sup>2</sup>
	本船泊地	約 7,500 m <sup>2</sup>
岸壁	2,000t 級	1 バース
ヨット保管地		約 28,000 m <sup>2</sup>
緑地・親水施設		約 22,000 m <sup>2</sup>
サービス施設		4,400 m <sup>2</sup>
駐車場台数		650 台
埋立て面積		約 1.6 ha

# 大磯港

PORT of OISO

## 海とみなとを活かしたまちづくりの拠点

大磯港は、相模湾のほぼ中央に位置し、県外から移入されるコンクリート用骨材の陸揚げ施設として昭和48年に完成しました。

取扱い貨物量は、オイルショック時に一時減少しましたが、その後の経済活動の活発化に伴い漸増し、平成28年には年間約48万トンを取り扱っています。

これまでに、西湘バイパスへ通じる臨港橋梁(オンランプ・オフランプ)及び海の玄関口となる岸壁の耐震化が完了し、大規模地震発生時の緊急物資受入港に位置づけられているとともに、平成29年7月には、海水浴客でにぎわう北浜海岸に津波避難タワーが完成し、防災機能が強化されました。

また、古くから漁業も営まれており、約40隻の漁船を収容しています。

大磯港平面図



### 主な港湾施設

種類	名称	数量
水域施設	泊地	36,570 m <sup>2</sup> (-4 ~ 5m)
	漁船泊地	11,440 m <sup>2</sup> (-3.0m)
外郭施設	西防波堤	228 m
	東防波堤	349 m
	西防波護岸	315 m
	東防波護岸	74 m
	漁港突堤	60 m
	漁港波除堤	21 m
	西護岸	25 m
	中央護岸	65 m
係留施設	西岸壁	180 m(-5.0m)(耐震)
	中央岸壁	85 m(-5.0m)(耐震)
	東岸壁	80 m(-5.0m)(耐震)
	漁船物揚場	89 m(-3.0m)
	漁船舶揚場	120m
臨港交通施設	臨港道路	1,600 m
	臨港橋梁(オンランプ)	144 m(耐震)
	臨港橋梁(オフランプ)	42 m(耐震)
	臨港道路附属駐車場	4,153 m <sup>2</sup> (114台)
荷さばき施設	西荷さばき地	5,587 m <sup>2</sup>
	漁船荷さばき地	2,382 m <sup>2</sup>
港湾環境整備施設	東緑地	2,127 m <sup>2</sup>
保管施設	野積場(駐車場)	8,070 m <sup>2</sup> (239台)
港湾管理施設	大磯港管理事務所	332 m <sup>2</sup>



- 港湾区域認可／昭和 29 年 4 月 1 日
- 港湾区域面積／ 37ha
- 臨港地区都市計画決定／平成 17 年 2 月 15 日
- 臨港地区面積／約 5.8ha
- 所在地／中郡大磯町大磯



大磯港

O I S O



津波避難タワー



大磯市（毎月第3日曜日開催）

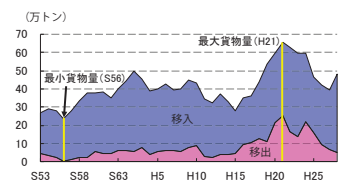
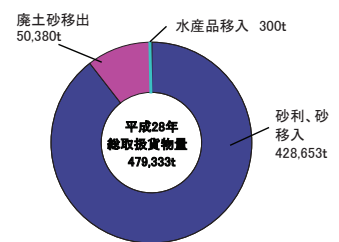


耐震化した臨港橋梁（西湘バイパス 大磯港 IC オンランプ）



建設用資材の荷卸し（西岸壁）

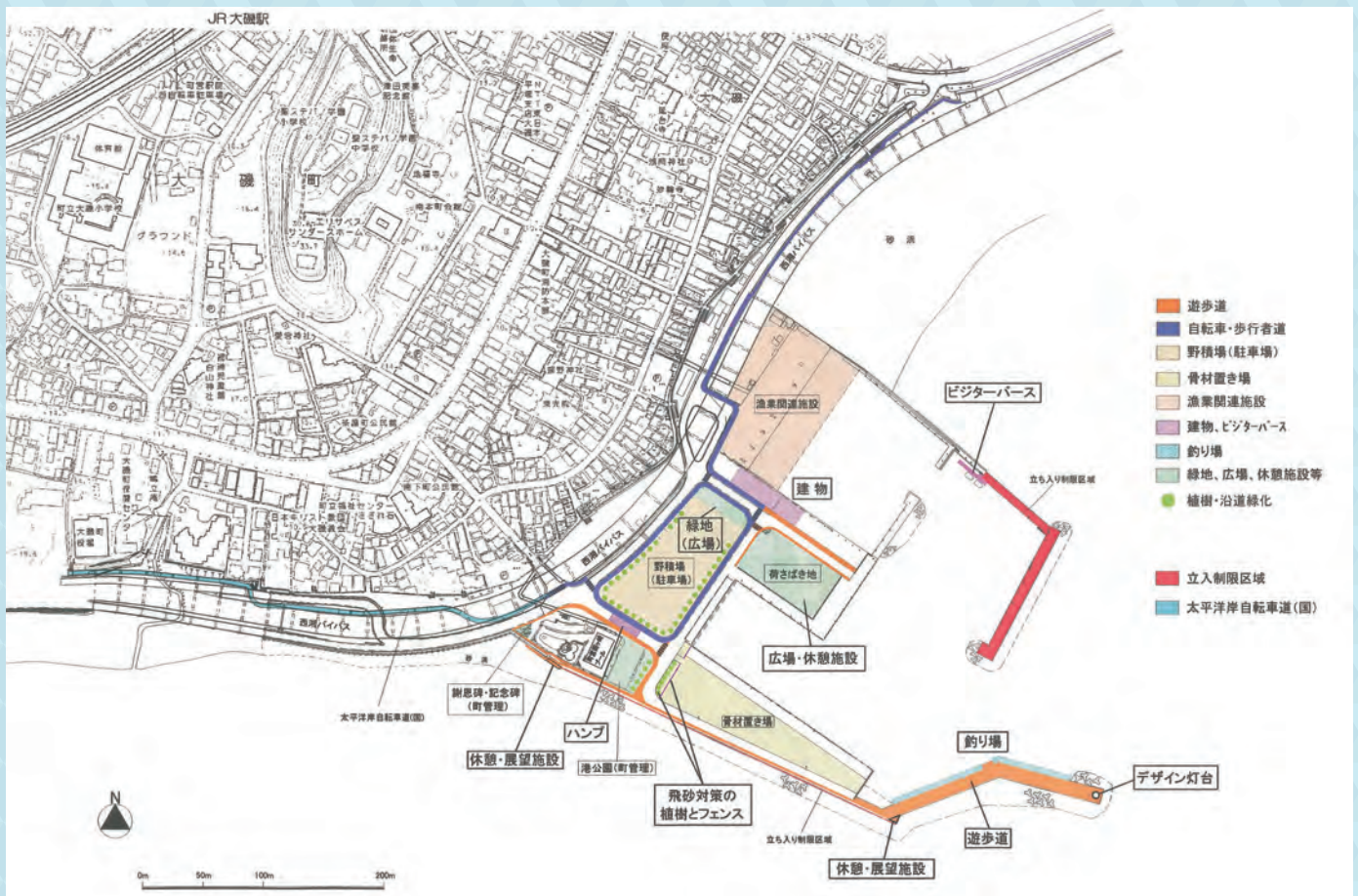
### 取扱貨物量の推移





# 大磯港活性化整備計画

(2008年～)



自然、歴史、文化などの資源を活かした、地域活性化の拠点となる港を目指します。

## 1 良好で快適な港空間の創造

港内を回遊する遊歩道や休憩施設を整備し、緑化を推進することで憩い、集えるスペースを確保し、良好で快適な港湾環境を提供します。

## 2 地域活性化に向けた基盤整備

港湾管理事務所や漁業協同組合事務所などの建物を集約して土地の有効活用を図り、地域活性化のための交流拠点施設として整備することで賑わいを創出します。

## 3 自然、歴史、文化の資源を活かしたみなとづくり

アオバトの集団飛来地として県の天然記念物に指定されている「照ヶ崎」へのアクセス改善および適切な休憩・展望施設の設置や、「日本海水浴場発祥の地」を背景とした、近接する海水浴場の適正な利用と保全、地域のシンボルにふさわしいデザイン灯台の設置など、周辺の自然、歴史、文化的な地域資源と調和したみなとづくりを心がけます。

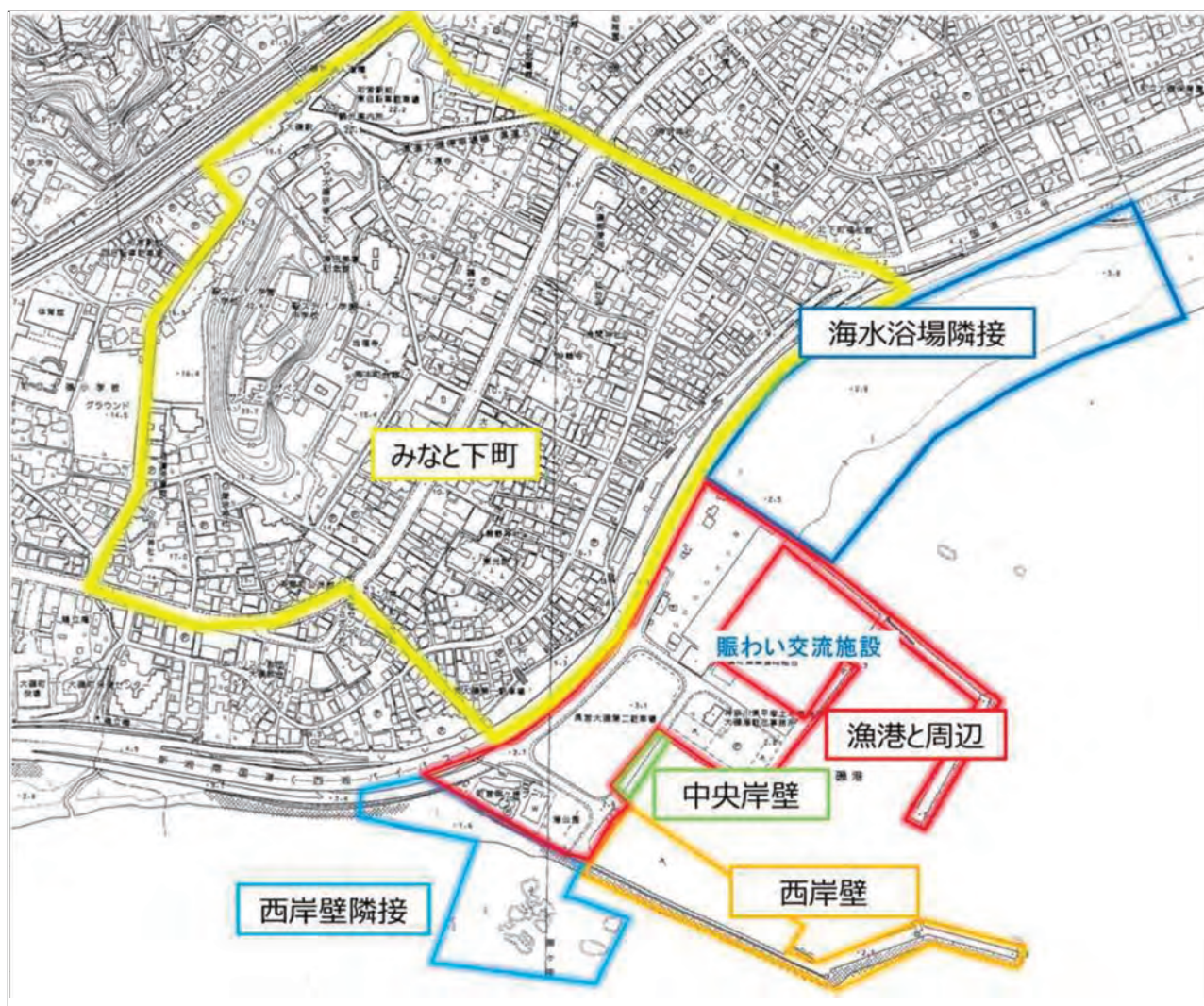


## 「みなとオアシス 大磯（仮称）」の取組み

大磯港では、大磯町が主体となって平成29年3月に「大磯港みなとオアシス(賑わい交流施設)整備計画基本構想」を策定しました。

みなとオアシス(賑わい交流施設)の整備コンセプトを「ここからマチナカの瀟洒な雰囲気<sup>しやうしや</sup>を体感するマチ歩きが始まる 人や情報の交流と賑わい創出の拠点」とし、JR大磯駅から大磯港までの「みなと下町エリア」をみなとオアシスエリアとする方針です。

水産品の直売所やレストランなどからなる賑わい交流施設の整備にあわせて「みなとオアシス 大磯（仮称）」の登録を行います。



賑わい交流施設イメージスケッチ

「みなとオアシス」とは、・・・・・・  
地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興が継続的に行われる施設。

旅客船ターミナル、文化交流施設、みなと資料館、情報提供施設、地元産品の物販施設や飲食施設などで構成される。

# 真鶴港

PORT of MANAZURU

## 地場産業と観光の拠点

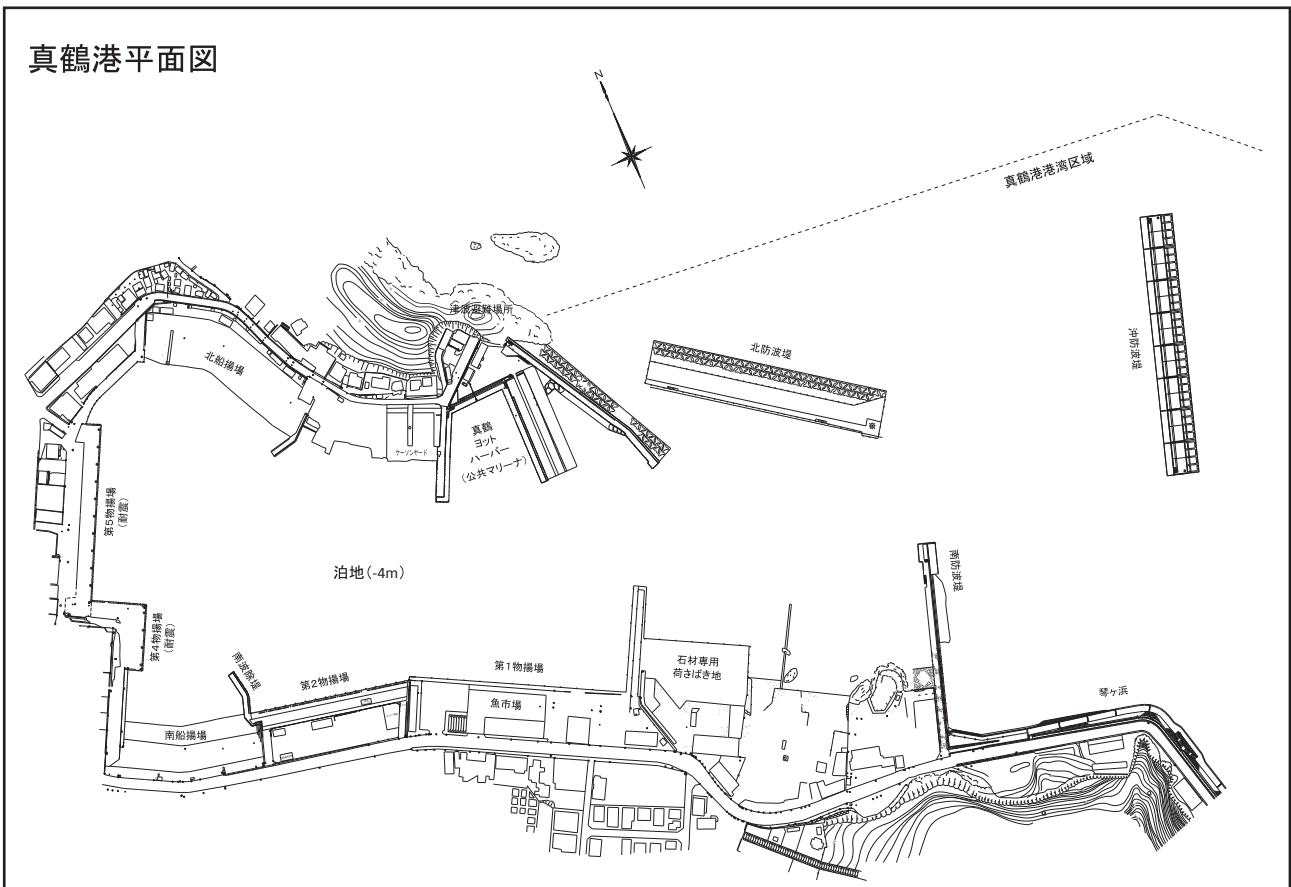
真鶴港は、本県西端の真鶴半島の北側に位置し、半島の陰にある天然の良港です。真鶴町では、江戸城築城以来の歴史を持つ石材業が盛んであり、真鶴港からは石材船による“本小松石”の積出しが行われ、町の地場産業を支える大きな柱となっています。

これまでに、観光船や漁船の発着に利用されている第2物揚場の改良や、第4、第5物揚場の耐震化が完了し、大規模地震発生時の緊急物資受入港に位置づけられています。

さらに、平成29年3月には、10年の歳月をかけて沖防波堤が完成し、外洋に開いた港口からの波を遮ることで港内の静穏度が保たれ、利便性や安全性が向上しました。

現在、ヨットハーバーには約20隻のクルーザーヨットを、漁港エリアには約60隻の漁船を収容しています。

真鶴港平面図



### 主な港湾施設

種類	名称	数量	種類	名称	数量
水域施設	泊地	66,000 m <sup>2</sup> (-4.0m)	係留施設	第4物揚場	78m(-4.0m)(耐震)
外郭施設	北防波堤	150m		第5物揚場	113m(-4.0m)(耐震)
	北突堤	94m		第6物揚場	54m(-2.5m)
	南防波堤	83m		石材専用船揚場	87m(-3.8m)
	北波除堤	51m		北船揚場	200m
	南波除堤	27m		南船揚場	76m
	沖防波堤	150m	荷さばき施設	西荷さばき地	2,891 m <sup>2</sup>
係留施設	第1物揚場	138m(-4.0m)		南荷さばき地	600 m <sup>2</sup>
	第2物揚場	100m(-4.0m)	保管施設	野積場	816 m <sup>2</sup>
	第3物揚場	30m(-2.5m)	港湾管理施設	真鶴港管理事務所	52 m <sup>2</sup>



- 港湾区域認可／平成 19 年 11 月 12 日変更  
(昭和 29 年 4 月 1 日当初)
- 港湾区域面積／約 45.2ha (約 30ha)
- 臨港地区都市計画決定／平成 17 年 3 月 11 日
- 臨港地区面積／約 3.7ha
- 所在地／足柄下郡真鶴町真鶴



真鶴港



沖防波堤



第 1 物揚場と魚市場 (※2 階はレストラン『魚座』)



整備前

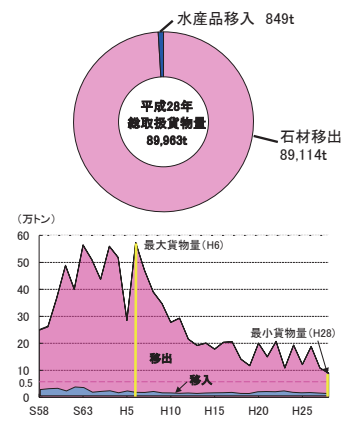


親水性が向上した琴ヶ浜



石材の積み込み (石材専用物揚場)

### 取扱貨物量の推移



MANAZURU



# 真鶴港活性化整備計画

(2005年～)



真鶴港活性化整備計画イメージパース

安全で快適な港づくりと、真鶴半島観光の拠点を目指します。

## 1 使い易く安全な港づくり

第2物揚場や波除堤等の老朽化した既存施設の改修、沖防波堤により港内静穏度の向上を図り、プレジャーボートの拠点であるボートパークの浮き栈橋・休憩施設、漁業基地の物揚場、石材船の係留施設等により、各種港湾活動の利用調整が容易で使い易く、安全な港づくりを行います。

## 2 防災機能の強化

沖防波堤により高波・高潮・津波の低減、津波避難施設により港周辺に避難場所を確保して津波被害の軽減を図り、耐震強化岸壁背後地の港湾管理施設、西・南荷さばき地の改修により大規模地震時の緊急物資受入港としての機能を強化します。

## 3 地場産業活性化に向けた基盤

漁業基地における物揚場、漁具管理施設等により、漁船の大型化への対応、網干し作業の効率化等漁業活動の近代化に対処し、石材船係留場所の確保により物揚場利用時の円滑化を図る等、産業活性化に向けた基盤を整備します。

## 4 観光拠点機能の強化

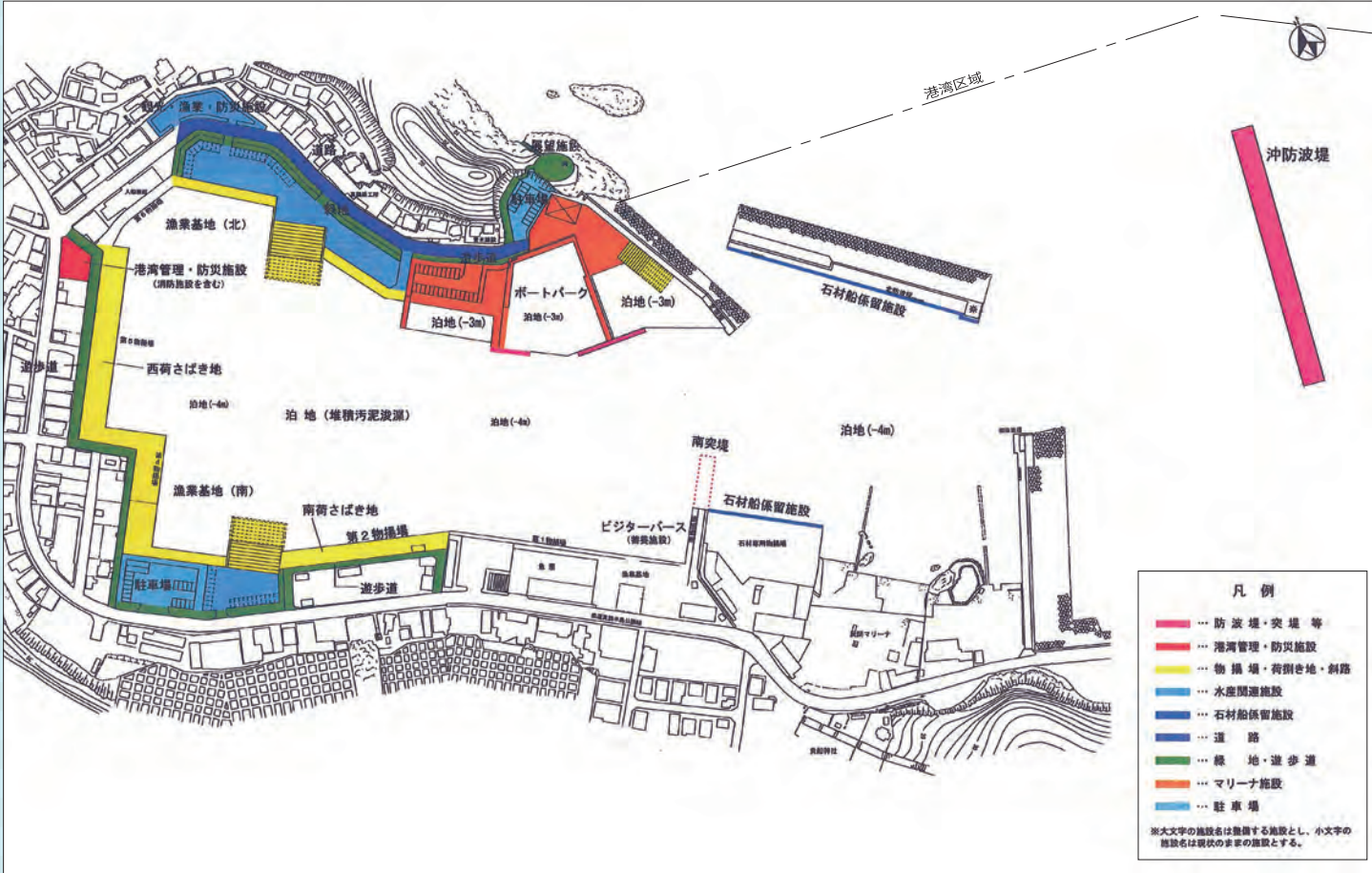
ボートパークの保管隻数の増大、ビジターバースの確保等によりプレジャーボート需要に対処し、体験漁業・体験学習施設、既存の「魚座」等により漁業と観光業の連携による地場産業の活性化を支援し、展望施設、遊歩道、一般駐車場等により港湾利用者だけでなく地域住民や観光客に開かれた港とすることで観光拠点としての機能を強化します。

## 5 港湾環境の向上

遊歩道の植栽、漁業活動と近隣住宅地等との緩衝機能を兼ねる緑地により港に潤いをもたらす、泊地堆積汚泥の浚渫により港内水質の改善を図り、漁業者・一般駐車場により港とその周辺の駐車状況を改善することで港内環境の向上を図ります。



# 活性化整備計画平面図



MANAZURU



改良した第2物揚場と南荷さばき地



利便性が向上したボートパーク



# 東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技 江の島開催 2度目のオリンピックを迎えるセーリングの聖地

## ① 第18回オリンピック競技大会（1964／東京）

期 間：1964年10月10日～24日（15日間）  
競技数：20競技（ヨット競技：5種目）



昭和35年、東京オリンピックのヨット競技会場が江の島に決定したことを受け、湘南港の建設工事に着手しました。海面の埋立てや防波堤、ヨットハウス、江の島大橋等の大掛かりな工事を約3年という短い期間で行い、オリンピック大会を迎えることができました。

## ② 第32回オリンピック競技大会（2020／東京）

期 間：2020年7月24日～8月9日（16日間）  
競技数：33競技（セーリング競技：10種目）

○ 神奈川県会場プラン(調整素案) イメージパース



平成27年6月、東京オリンピックのセーリング競技を、再び湘南港で開催することが決定しました。1964(昭和39)年当時に比べ競技種目が5種目から10種目に増加します。  
湘南港の各施設も建設後50年以上が経過しており、安全性や利便性の向上を目指して、整備を進めています。



## 臨港道路の渋滞対策 ～江の島大橋3車線化事業～

江の島大橋は、湘南港を建設するための工専用道路として昭和37年に完成し、その後、昭和39年に東京オリンピックの開催に併せて一般供用された2車線の橋梁です。

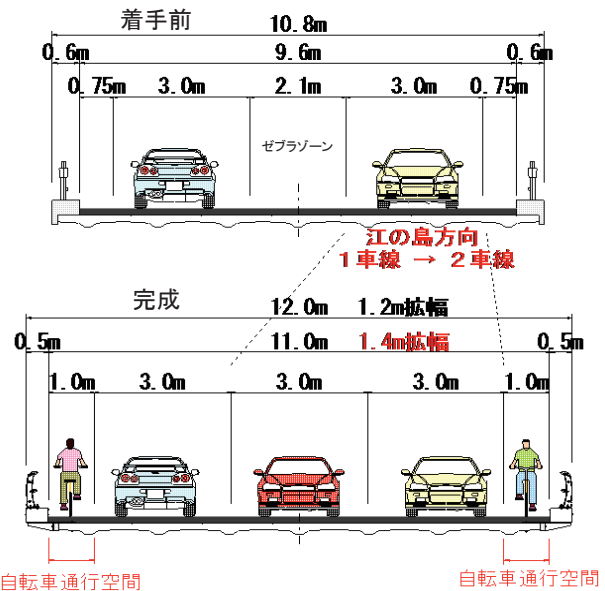
江の島は神奈川を代表する観光地であり、毎年およそ1000万人の来訪者があることなどから、交通渋滞が課題となっています。そこで、東京オリンピックの開催が決定したことを受け、オリンピック大会時のみならず、休日を中心とした渋滞の緩和を図るため、江の島大橋の3車線化事業を実施しました。

また、江の島大橋は、建設後50年以上が経過しているため、補修や補強などの長寿命化対策も実施します。

○ 着手前



○ 断面図



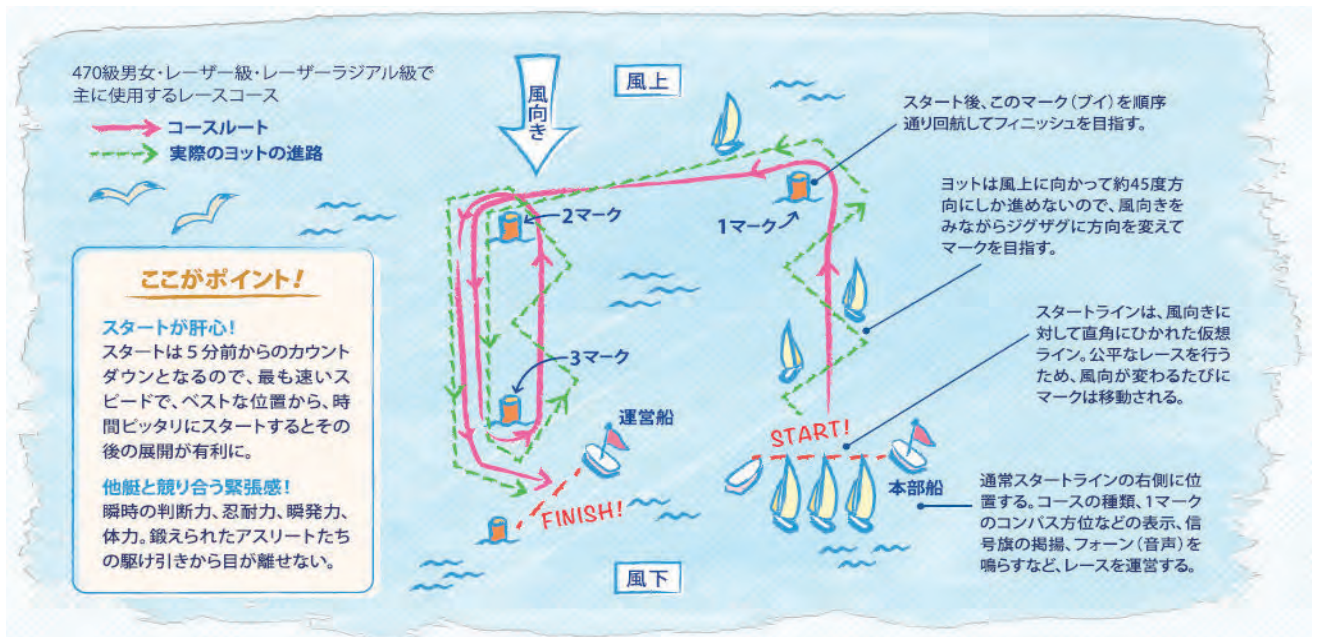
○ 完成



## セーリング競技って？

帆(セール)の表面を風が流れるときに発生する揚力を動力として、水上を滑走する速さや技術を競う競技です。小型セールボートに乗り、レース海面に設置されたマークを、決められた順序で決められた回数まわり、フィニッシュします。着順を点数化し、総得点が低いものから順位が決まります。

セーリング競技は、常に変化する自然の条件下で他艇と競うスポーツです。風の状況、潮流の影響、波の状態などを勘案してヨットのセッティングを行い、ヨットの持つ最大限のスピードを引き出すことが重要です。他艇との位置関係、コース取り、コース全体を俯瞰的に見て、戦略と戦術を駆使しながらフィニッシュラインを目指します。



PORT of KAWASAKI

## 川崎港

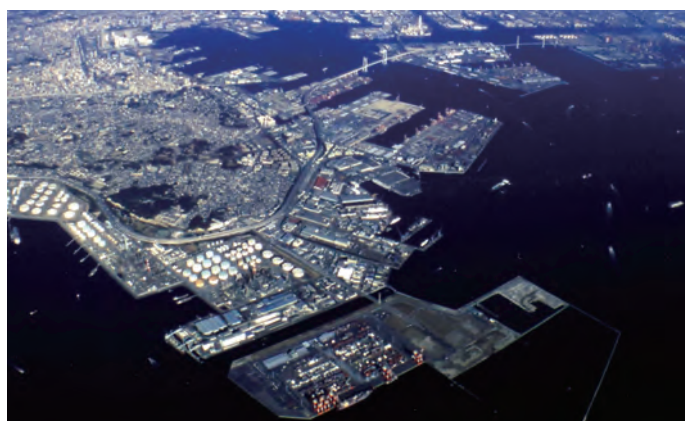
- ・国際戦略港湾指定年月日／平成 23 年 4 月 1 日
- ・港湾区域面積／約 3,298ha
- ・臨港地区都市計画決定年月日／平成 21 年 9 月 18 日
- ・臨港地区面積／約 2,053ha
- ・平成 27 年入港船舶隻数／ 23,838 隻
- ・平成 27 年入港船舶総トン数／ 99,206,573ト
- ・平成 27 年取扱貨物量／ 86,676,661ト



PORT of YOKOHAMA

## 横浜港

- ・国際戦略港湾指定年月日／平成 23 年 4 月 1 日
- ・港湾区域面積／約 7,316ha
- ・臨港地区都市計画決定年月日／平成 22 年 3 月 23 日
- ・臨港地区面積／約 2,864ha
- ・平成 27 年入港船舶隻数／ 35,979 隻
- ・平成 27 年入港船舶総トン数／ 284,555,233ト
- ・平成 27 年取扱貨物量／ 114,741,049ト



PORT of YOKOSUKA

## 横須賀港

- ・重要港湾指定年月日／昭和 26 年 1 月 19 日
- ・港湾区域面積／約 5,529ha
- ・臨港地区都市計画決定年月日／平成 22 年 12 月 17 日
- ・臨港地区面積／約 283ha
- ・平成 27 年入港船舶隻数／ 15,327 隻
- ・平成 27 年入港船舶総トン数／ 28,109,013ト
- ・平成 27 年取扱貨物量／ 9,534,332ト





# 神奈川県内の港湾管理の機構

神奈川県知事  
(港湾管理者の長)

神奈川県県土整備局河川下水道部河港課

〒231-8588  
横浜市中区日本大通1  
TEL 045-210-1111  
FAX 045-210-8897

葉山港

横須賀土木事務所  
(港湾管理者)

〒238-0022  
横須賀市公郷町1-56-5  
TEL 046-853-8800  
FAX 046-853-7443

葉山港管理事務所

(指定管理者：湘南サニーサイドマリーナ株式会社)

〒240-0112  
三浦郡葉山町堀内50  
TEL 046-875-1504  
FAX 046-876-1862

湘南港

藤沢土木事務所  
(港湾管理者)

〒251-0025  
藤沢市鶴沼石上2-7-1  
TEL 0466-26-2111  
FAX 0466-26-4853

藤沢土木事務所  
汐見台庁舎

〒253-0033  
茅ヶ崎市汐見台1-7  
TEL 0467-58-1473  
FAX 0467-58-4953

湘南港管理事務所

(指定管理者：株式会社リビエラリゾート)

〒251-0036  
藤沢市江の島1-12-2  
TEL 0466-22-2128  
FAX 0466-25-5413

大磯港

平塚土木事務所  
(港湾管理者)

〒254-0073  
平塚市西八幡1-3-1  
TEL 0463-22-2711  
FAX 0463-24-0488

大磯港管理事務所  
(指定管理者：大磯町)

〒255-0003  
中郡大磯町大磯1398-18  
TEL 0463-61-5719  
FAX 0463-61-5719

真鶴港

県西土木事務所小田原土木センター  
(港湾管理者)

〒250-0003  
小田原市東町5-2-58  
TEL 0465-34-4141  
FAX 0465-35-9247

真鶴港管理事務所

〒259-0201  
足柄下郡真鶴町真鶴21  
TEL 0465-68-3827  
FAX 0465-68-5119

## 港湾に関するその他の機関

国土交通省関東地方整備局港湾空港部	〒231-8436	横浜市中区北仲通 5-57	横浜第2 合同庁舎内	TEL 045-211-7406
国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所	〒231-0001	横浜市中区新港 1-6-1	よこはま新港合同庁舎内	TEL 045-226-3740
国土交通省関東運輸局	〒231-8433	横浜市中区北仲通 5-57	横浜第2 合同庁舎内	TEL 045-211-7204
海上保安庁第三管区海上保安本部	〒231-8818	横浜市中区北仲通 5-57	横浜第2 合同庁舎内	TEL 045-211-1118
横須賀海上保安部	〒237-0071	横須賀市田浦港町無番地	横須賀港湾合同庁舎内	TEL 046-861-8366
湘南海上保安署	〒251-0036	藤沢市江の島 1-12-2		TEL 0466-22-4999
川崎市港湾局	〒210-8577	川崎市川崎区宮本町 1		TEL 044-200-3049
横浜市港湾局	〒231-0005	横浜市中区本町 6-50-10	市庁舎内	TEL 045-671-2880
横須賀市港湾部	〒238-8550	横須賀市小川町 11	市庁舎内	TEL 046-822-4000



大切にしたい私たちの県島



神奈川県

県土整備局河川下水道部河港課  
横浜市中区日本大通1-231-8588 電話(045)210-1111(代表)

発行 2017(平成29)年12月  
増刷 2024(令和6)年3月